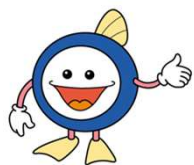


パネル展示



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

下水道について もっと知ろう！

展示期間：令和3年10月15日（金）～11月12日（金）

展示場所：広島県情報プラザ1階 コンベンションプラザ
（広島市中区千田町3-7-47）



太田川東部浄化センター

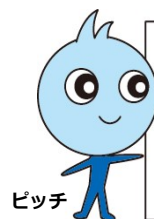
広島県下水道公社では、9月10日の『下水道の日』にちなんで、例年この時期に、下水道知識の普及・啓発活動に取り組んでいます。（今年度はコロナ禍により10月中旬～11月中旬に実施）

この度は、広島県情報プラザにおいて、汚水がキレイになる仕組みを紹介するパネルの展示や各種資料の掲示、「家族で学ぼう！下水道 Q&A」の配布などを行います。

併せて、関連する図書リストも配布しますので、広島県立図書館で本を借り、下水道について学んでいただければと思います。

下水道に対する理解と関心を通して、環境保全への意識がより一層高まれば幸いです。

公益財団法人広島県下水道公社（本社 総務部）
〒734-0056 広島市南区向洋沖町1番1号
電話 082-286-8200（代表）
FAX 082-286-8188



ビッチ

ぼくらと一緒に、家庭から出る汚水が浄化センターでどのようにしてきれいになるかを見て、下水道の仕組みを勉強しよう！



チャップ



・し尿の置棄利用

し尿は、むかしはとてんもんなら配れては戸数にははとんとすべてのし尿が農村にかんがねられていました



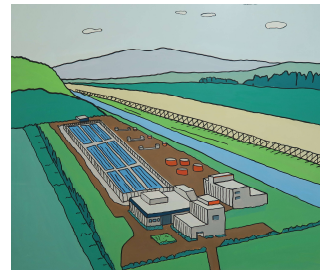
・仙台市の下水道（明治）

明治30年仙台でつくられたレンガの地下下水道で驚いていました



・日本最初の処理場である三河島処理場（大正）

日本最初の処理場である三河島処理場が大正11年に完成しました。レンガの建物のためとても美しい風景で当時珍しかったと云います



・現在の処理場（昭和）

現在の処理場はすべてコンクリートで建設され、設備も大変進歩しています